

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	12	施策名	水辺とみどりの保全・創出				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために				
施策担当課	都市整備部みどり公園課					関係課	都市整備部建設課					
施策の概要	施策の対象	区民、民有地、民有施設、区有地、区立施設	目標	都市と自然環境が調和した健康で快適な生活環境を創出するため、区民、事業者、区のパートナーシップのもと、総合的な施策を通して水辺とみどりの保全・創出を図ります。								
	成果目標	自然環境と調和のとれたまちづくりに向け、区内に点在する公園、道路、河川、屋敷林、民有地などの多様なみどりと水を結びつけ、みどりの豊かさが実感できるまちとします。この実現のため、みどりの基本計画に定めたみどり39プランの施策を総合的に推進していきます。										
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	平成19年度のみどりの実態調査では、緑被率は21.84%まで回復してきたが、宅地の細分化や相続などによる屋敷林の減少などが進んでいます。これらの課題については、新たなしくみづくりの検討を進めていく必要があります。また、これまで国や都に対し、屋敷林の保全のための税の軽減をはじめとした要請を行ってききましたが、実現にはいたっていません。今後も、特別区全体で国や都に強く要請していきます。											
施策分析 ・ 施策コスト (単位千円)	区分	平成18年度実績	平成19年度計画		平成19年度実績		平成20年度計画		平成20年度実績		平成21年度計画	特記事項
	事業費	308,342	287,179	240,309	302,804	232,758	287,962					
	(内)投資的経費等	174,310	80,276	70,589	122,370	82,977	103,520					
	(内)委託費	250,833	203,086	181,922	223,789	179,057	205,710					
	職員数(人) (常勤 非常勤)	14.55 0.00	13.80 0.00	14.25 0.00	15.15 0.00	16.63 1.00	17.10 1.00					
	人件費	131,823	126,132	130,246	137,109	153,303	157,556					
	総事業費 (+)	440,165	413,311	370,555	439,913	386,061	445,518					
	(財源)国・都からの補助金等	0	0	0	0	0	0					
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)			▲ 15.8	6.4	4.2	1.3	当該年度 / 前年度 総事業費 / 総事業費 %				
	人件費比率	29.9	30.5	35.1	31.2	39.7	35.4	人件費 / 総事業費 (単位%)				
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
	保護樹林面積				m ²	581,810	551,758	497,521				
	接道部緑化助成件数				件	45	34	35				
	みどりのボランティア登録数				人	166	168	25				
	みどりに関する講座				回数	7	8	6				

施策分析指標	指標名	算式または指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標	平成20年度実績	目標値	目標年度
	緑被率		%	(14年度) 20.9	21.8	-	(19年度) 21.8	25.0	30
	みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合	区民意向調査による	%	60.8	67.2	68.0	67.9	70.0	22

施策分析指標	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	水辺環境の整備、みどりを育てる、みどりを創る、みどりを守る、みどりの基金
		大きな成果を上げている事務事業	みどりを育てる、みどりを創る
		費用対効果の高い事務事業	みどりを守る
		見直すべき事務事業	みどりの基金
新規事業			

施策の総合評価	指標の変化	緑被率については、杉並区みどりの条例に規定された5年ごとに行うみどりの実態調査結果を実績数値としているが、前回調査に比べ0.9%増加しています。また、みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合については、年々少しずつ高くなってきています。
	20年度の取組状況	みどりのベルトづくりについては、高円寺をモデル地区に指定するため、説明会の開催等を実施しました。また、専門家を交えて、屋敷林等の保全に向けた調査研究を行いました。善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業においては、検討懇談会を設置し、事業の基本的な取組の視点についての提言をいただくとともに、これに基づく基本方針の素案を策定しました。あわせて、事業への区民意識の高揚や幅広い区民意見・基礎数値の把握を目的にシンポジウムや水鳥の一斉調査を実施しました。
	政策への貢献度	うるおいのある美しいまちをつくるために、水辺環境の整備やみどりを守る・育てる等の水辺とみどりの保全・創出事業が果たす役割は大きいと考えます。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
施策のあり方	水辺とみどりの保全・創出については、その多くが民有のみどりに関することであるため、区は、杉並区の水辺とみどりを保全・創出するための効果的な支援を行うとともに、区民参加のルールづくりをきめ細かく行うことが重要です。また、水辺環境の整備については、具体的な整備主体(都及び区)、整備手法、予算措置等を明確にした事業計画の推進が必要です。

二次評価(方向性)	河川では、安全安心の観点から都の河川改修と調整を図るとともに、護岸補修や河床保護を実施してきました。さらに、善福寺川では潤いと安らぎのある水辺の再生・創出を図るため、都と連携した緩傾斜護岸の整備や水鳥の棲む水辺創出事業に取り組んでいます。みどりでは、守る、創る、育てるの視点から保護樹木・市民緑地の指定、接道部・屋上・壁面緑化の推進、ボランティア支援などに力を注いできました。水辺とみどりの保全・創出には区民の理解・協力が必要です。今後も、区民が参加しやすい事業を展開して積極的に取り組みます。
-----------	---

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 12】 【施策名: 水辺とみどりの保全・創出】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22年度 の方向性 予算	相対性					
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常勤							重点	成果	効果	見直		
1	408	水辺環境の整備			70,442	70,099	69,456	2.75	0.00	24,888	95,330	0	増	現状維持	増減なし				
2	427	みどりを育てる			8,267	0	4,382	4.31	0.00	39,006	47,273	0	増	増	増減なし				
3	428	みどりを創る			90,912	5,744	81,006	5.82	0.00	52,671	143,583	0	増	増	増減なし				
4	429	みどりを守る			61,006	7,134	24,212	3.70	1.00	36,285	97,291	0	増	現状維持	増減なし				
5	430	みどりの基金			2,132	0	0	0.05	0.00	453	2,585	0	増	現状維持	増減なし				
6										0	0								
7										0	0								
8										0	0								
9										0	0								
10										0	0								
11										0	0								
12										0	0								
13										0	0								
14										0	0								
15										0	0								
16										0	0								
17										0	0								
18										0	0								
19										0	0								
20										0	0								
21										0	0								
22										0	0								
23										0	0								
24										0	0								
25										0	0								
26										0	0								
27										0	0								
28										0	0								
29										0	0								
30										0	0								
31										0	0								
32										0	0								
33										0	0								
34										0	0								
35										0	0								
36										0	0								
37										0	0								
38										0	0								
39										0	0								
合計					232,758	82,977	179,057	16.63	1.00	153,303	386,061	0							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	13	施策名	公園づくり				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために			
施策担当課	都市整備部みどり公園課					関係課					
施策の概要	対象	区立公園・予定地・遊び場・公衆便所 公園利用者・地域の団体	目標	現状のみどりを守るだけでなく、公園・緑地等の整備を進め、区民のニーズにあった多様なオープンスペースを創り、みどりの総量増を目指します。また、既存公園・緑地等が持つ機能の維持や特色ある公園として再整備することにより、利用者の安全・安心で快適な利用を確保し、地域に密着した魅力ある公園づくりを目指します。							
	成果目標	・公園の整備では、国・都からの補助金を活用し公園等用地の確保に努め、公園の計画段階から区民との協働による公園づくりを行います。21年度に高井戸東地区地区計画の地区施設公園(面積約1.65ha)が完成を予定しています。平成22年度には防災公園として(仮称)桃井中央公園(面積約4.0ha)が開園の予定であり、区民一人あたりの公園面積の増が見込まれます。また、21年度には(仮称)高円寺北一丁目公園の用地を取得する予定です。 ・公園の維持管理については、区民との協働による公園管理体制を拡充し、公園ボランティア団体等の連携、育成を推進していきます(平成20年度145団体)。									
施策を取り巻く環境(動き、区民意見等)	・既存公園の老朽化と区民の質の高い維持管理の要望で、年々経費の増が必要です。また、安全性を高めるためにも、計画的な維持管理を図り、より安全・安心して快適に利用できる公園管理が求められています。さらに、災害時に避難場所として防災機能を有した防災公園の建設が計画されています。 ・生活習慣の多様化により、公園の夜間利用による騒音等への苦情が増加しており、夜間の利用指導、防犯等への要望が多くなっています。一方で日中の公園における子供の声に対する要望も増え始めています。										
施策分析 ・施策コスト(単位千円)	区分	平成18年度	平成19年度		平成20年度		平成21年度		特記事項		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画				
	事業費	3,179,714	3,155,669	3,090,211	4,459,217	3,936,376	4,259,888	20年度は成田西切通し緑地、成田西いこい緑地、(仮称)阿佐谷北公園、(仮称)西荻北けやき公園の用地を、身近な公園にするために取得したため、実績増となりました。			
	(内)投資的経費等	2,449,005	2,384,673	2,354,862	3,666,422	3,166,811	3,463,442				
	(内)委託費	2,385,382	2,086,661	2,033,994	715,770	694,929	757,324				
	職員数(人) (常勤 非常勤)	55.79 48.48	55.10 48.28	56.65 49.67	50.90 49.49	50.06 49.71	44.20 53.32				
	人件費	642,656	637,350	655,367	599,217	592,233	549,306				
	総事業費(+)	3,822,370	3,793,019	3,745,578	5,058,434	4,528,609	4,809,194				
	(財源)国・都からの補助金等	472,855	694,357	664,884	1,082,560	899,151	955,279				
	総事業費伸び率(計画比・実績比)			▲ 2.0	33.4	20.9	▲ 4.9			当該年度 / 前年度 総事業費 / 総事業費 %	
人件費比率	16.8	16.8	17.5	11.8	13.1	11.4	人件費 / 総事業費(単位%)				
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
	区立公園・緑地数				園	300	303	303			
	区立公園・緑地面積				m ²	524,673.96	533,288.52	533,540.09			
	区民一人あたりの区立公園面積	公園・緑地等面積 / 人口			m ²	0.99	0.99	0.99			
	花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組参加団体				団体	118	138	145			

施策分析	指標名	算式または指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標	平成20年度実績	目標値	目標年度
	一人あたりの公園緑地面積(都立公園含む)	公園・緑地等面積 / 人口	m ²	1.83	1.84	1.89	1.85	1.96	22
	公園等自主管理個所数の割合	自主管理個所数 / 公園等の数	%	34	46	46	48	52.5	22

施策を構成の状況	重点事業に位置付けられる事務事業	公園事業、地域公園の整備、身近な公園の整備、公園の改修
	大きな成果を上げている事務事業	公園緑地事務所等の管理運営、公園の維持管理、公衆便所の維持管理
	費用対効果の高い事務事業	公園事業
	見直すべき事務事業	遊び場の維持管理
新規事業		

施策の総合評価	指標の変化	<p>・平成19年4月に天沼弁天池(約5300m²)平成20年4月に定塚橋公園(約1767.82m²)が開園するなど、着実に公園緑地面積を増加させています。</p> <p>・花咲かせ隊(区民等による公園などの花壇管理団体)、すぎなみ公園育て組(区民等による公園などの自主管理団体)が着実に増加しており、区民との協働による公園管理体制が進んできています。</p>
	20年度の取組状況	<p>(仮称)桃井中央公園の整備(平成18-22年度)は、用地40,000m²のうち8,000m²の取得と実施設計を行いました。今後は平成21、22年度に整備工事を行い、平成23年3月に開園予定です。また、成田西切通し緑地、成田西いこい緑地、(仮称)阿佐谷北公園、(仮称)西荻北けやき公園の用地を、身近な公園として整備するために取得しました。</p> <p>区民等との協働による公園管理運営体制は、花咲かせ隊109団体、すぎなみ公園育て組36団体と着実に増加しています。</p>
	政策への貢献度	「公園維持管理指針」に基づき計画的な維持管理を行い、今あるみどりを守り育てると共に、新たな公園・緑地の確保に努め、緑とオープンスペースの拡充を図ることにより、うるおいのある美しいまちづくりに貢献しています。

今後の施策の方向	○ 拡充 ● サービス増 ○ 現状維持 ○ 効率化 ○ 縮小 ○ 統廃合
施策のあり方	公園・緑地等の整備は、国・都からの補助金を活用して用地の確保に努めると共に、既存の公園については特色のある公園に再整備し、地域に密着した魅力ある公園づくりを行います。また、維持管理については、区民等との協働による公園維持管理体制を推進します。

二次評価(方向性・課題)	区民一人あたり5m ² の公園面積の確保を目標として、企業用地等の計画的な取得を進めてきた結果、平成20年度は(仮称)桃井中央公園用地として8,000m ² を確保することが出来ました。今後も、みどりが豊かで安全・安心なまちをつくるため、公園の新設・改修を進めます。また公園の維持管理においても、民間事業化提案制度による公園等便所維持事業のモデル地域を拡大し、花咲かせ隊等の充実により区民との協働を推進します。
--------------	---

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 13】 【施策名: 公園づくり】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22 年度 方向 性	相対性				
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤							重点	成果	効果	見直	
1	387 公園緑地事務所等の管理運営			39,297	0	20,307	1.40	6.42	30,646	69,943	0	増	増	増				
2	421 公園の維持管理			608,362	1,566	513,143	33.67	43.29	425,926	1,034,288	0	増	増	増減 なし				
3	422 公園事業			59,734	0	48,478	4.57	0.00	41,359	101,093	0	増	増	増				
4	423 遊び場の維持管理			46,664	0	44,143	4.80	0.00	43,440	90,104	0	現状 維持	減	大幅 減				
5	424 地域公園の整備			1,450,764	1,450,764	0	0.82	0.00	7,421	1,458,185	372,151	増	増	増減 なし				
6	425 身近な公園の整備			1,678,202	1,678,202	20,388	1.19	0.00	10,770	1,688,972	527,000	増	増	大幅 減				
7	426 公園の改修			36,279	36,279	36,173	1.88	0.00	17,014	53,293	0	増	増	増				
8	431 公衆便所の維持管理			17,074	0	12,297	1.73	0.00	15,657	32,731	0	増	現状 維持	増減 なし				
9									0	0								
10									0	0								
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				3,936,376	3,166,811	694,929	50.06	49.71	592,233	4,528,609	899,151							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	14	施策名	まちの景観づくり				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために							
施策担当課	都市整備部まちづくり推進課					関係課	都市整備部土木管理課								
施策の概要	対象	区民、事業者、公共団体、公共施設	目標	区民・事業者・区の協働による景観まちづくりの展開や景観に配慮した魅力ある公共施設づくりにより、美しくうるおいのあるまちなみ形成の実現を目指します。											
	成果目標	区民意向調査における生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)の向上を目標とします。													
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	開発などで失われるみどりや取り壊される歴史ある建物、伐採される貴重な樹木の保全、さらには派手な色彩の建物や高層マンションの出現など、失われるまちなみや風景に関する要望があります。区は、景観条例を制定し、東京都の同意を得て、景観行政団体となり、法を活用した景観施策に取り組みます。こうした状況の中で、区民等の景観に対する意識も、徐々に高まっていくと思われます。違反広告物や景観を損ねるような広告物の排除を求める要望が増加しています。														
施策分析 ・ 施策コスト (単位千円)	区分	平成18年度実績		平成19年度				平成20年度				平成21年度		特記事項 20年度は旧角川邸を、区立角川庭園とする改修工事を実施したため、前年度に比べて事業費が大幅増となっています。	
	事業費	196,456		計画		実績		計画		実績		計画			
	(内)投資的経費等	187,375		0		0		60,239		59,434		19,000			
	(内)委託費	185,425		4,051		3,886		72,524		71,504		21,504			
	職員数(人) (常勤 非常勤)	5.69	0.00	4.92	0.00	4.00	0.00	5.52	0.00	5.56	0.00	5.50	0.90		
	人件費	51,551		44,969		36,560		49,956		50,318		52,295			
	総事業費(+)	248,007		53,234		42,503		125,661		124,380		82,986			
	(財源)国・都からの補助金等	5,415		1,500		0		0		0		0			
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)	/		/		▲ 82.9		136.1		192.6		▲ 34.0			当該年度 総事業費
	人件費比率	20.8		84.5		86.0		39.8		40.5		63.0			前年度 総事業費 %
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度						
	景観新聞の発行部数					部	8,000	8,000	8,000						
	景観週間の参加者数					人	1,454	1,413	1,810						
	屋外広告物許可申請数					件	293	346	309						
	違反広告物の除去件数					件	22,431	29,313	24,445						

施策 成果 分析 指標	指標名	算式または 指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度 目標	平成20年度 実績	目標値	目標 年度
	杉並区のみちを美しいと思う人の割合		%	65.2	73.8	-	73.2	70.0	22
	違反広告物の除去 件数前年度比率		%	53	131	-	83	-	-

施策 事務 を 構 成 の 状 況	相 対 性	重点事業に 位置付けられ る事務事業	景観まちづくり
		大きな成果を 上げている事 務事業	
		費用対効果の 高い事務事業	屋外広告物許可・取締
		見直すべき 事務事業	
新規事業			

施策 の 総 合 評 価	指標の 変化	杉並区のみちを美しいと思う人の割合は、近年、ほぼ3人に2人となっています。違反広告物の除去件数は、取締の強化とボランティア活動の効果により、着実に増加しています。
	20年度 の 取 組 状 況	まちの景観は長い年月を経て創出されるものであり、すぐに効果があらわれるものではありませんが、さまざまな手法を用いて、優れたまちなみ景観をつくる施策を展開していきます。平成20年度は景観条例を制定し、平成21年4月には景観行政団体となり、景観法に基づく届出による指導を開始しています。屋外広告物の許可・取締等の取組を含め、区民意向調査における生活環境評価点(街なみの美しさや落ち着き)のさらなる向上につなげていきます。
	政策 への 貢 献 度	景観施策を継続的に実施することで、区民の景観に対する意識が向上し、自ら主体的に美しいまちをつくりあげる風土を醸成することができます。屋外広告物は、都市景観の構成要素として重要であり、設置場所、色彩、規模等についてまちなみに配慮した規制を行うとともに、違反広告物の除去を進めていくことが、まちの美観向上につながります。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
施策のあり方	1 景観計画は、21年度に策定し、施行します。 2 旧角川邸は、角川庭園として21年5月に開園し、6月より詩歌室、茶室の貸し出しを始めています。 3 屋外広告物の表示等の制限については、景観計画に盛り込み、広告主の意識を高めるとともに、区民との協働で良好な景観づくりを進めます。また、置き看板などの路上違反広告物の除却に向けた検討を継続します。

一次評価 (評価と課題 方向性)	景観条例の制定と、区が景観行政団体になったことは、法を活用した景観施策の実施や区が主体的に景観行政を進めるうえでの大きな契機となりました。平成21年度中に策定する区独自の景観計画に、都市景観の主要な構成要素である屋外広告物の表示等の制限を盛り込むことを検討しており、違反広告物除去の取組とともに、より地域の特性に配慮した景観行政を地域住民、事業者との協働により進め、まちの美観向上を推進します。
------------------------	---

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 14 】 【施策名: まちの景観づくり 】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22 年度 方向 性	相対性				
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤							重 点	成 果	効 果	見 直	
1	357 景観まちづくり			73,397	59,434	71,450	3.92	0.00	35,476	108,873	0	増	増	増				
2	378 屋外広告物許可・取締			664	0	54	1.64	0.00	14,842	15,506	0	現状 維持	現状 維持	増減 なし				
3									0	0								
4									0	0								
5									0	0								
6									0	0								
7									0	0								
8									0	0								
9									0	0								
10									0	0								
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				74,062	59,434	71,504	5.56	0.00	50,318	124,380	0							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	15	施策名	生活環境の整備				上位政策名	うるおいのある美しいまちをつくるために				
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課						
施策の概要	対象	区民、区内滞在者、区内通過者、区内事業者、区内の公共の場及び公共施設等、土地・建物の所有者及び管理者	目標	たばこの吸い殻・空き缶などの投げ捨てや管理不良の空き地・空き家をなくすとともに、カラス・蜂などの駆除相談にもできる限り迅速に対応し、区民にとって安全で快適な生活環境を整え、美しく清潔なまちをつくりまします。								
	成果目標	杉並区生活安全及び環境美化に関する条例(安全美化条例)に基づき啓発・指導を徹底することにより、路上禁煙地区を中心に歩きたばこや吸い殻の投げ捨てをなくします。また、クリーン大作戦をはじめ、地域の美化活動を推進していくことで、区民・事業者などの自発的な美化運動をより一層、支援してまいります。										
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	安全美化条例の施行後、路上喫煙指導及びキャンペーンなどの啓発事業を粘り強く行った結果、歩きたばこやポイ捨ては、19年度に比較し、約4割減となりましたが、たばこに関する苦情は毎日寄せられています。また、クリーン大作戦は、21年度で10年目を迎えますが、毎年約1万人近くの参加者があり、身近な環境美化活動として、地域に定着しつつあります。また、カラス対策については平成13年度からの東京都による捕獲作戦が功を奏し、ピーク時と比較し、生息数が半減しています。しかし、繁殖期を中心に、区民からの苦情は絶えず、引き続き巢の撤去や餌となるごみの排出指導など、迅速に対応してまいります。											
施策分析 ・ 施策コスト (単位千円)	区分	平成18年度実績	平成19年度計画		平成19年度実績		平成20年度計画		平成20年度実績		平成21年度計画	特記事項
	事業費	38,679	56,935	43,557	61,753	45,193	60,542					
	(内)投資的経費等	0	0	0	0	0	0					
	(内)委託費	29,536	45,351	36,109	49,182	35,564	49,709					
	職員数(人) (常勤 非常勤)	4.15 0.81	5.15 1.30	5.15 1.30	5.15 2.00	5.18 2.00	4.15 2.00					
	人件費	39,891	50,672	50,672	52,208	52,479	43,158					
	総事業費(+)	78,570	107,607	94,229	113,961	97,672	103,700					
	(財源)国・都からの補助金等	300	0	0	0	0	0					
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)			19.9	5.9	3.7	▲ 9.0	当該年度 総事業費	前年度 総事業費	%		
	人件費比率	50.8	47.1	53.8	45.8	53.7	41.6	人件費 / 総事業費 (単位%)				
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
	クリーン大作戦参加団体数				団体	192	161	157				
	路上禁煙地区数				箇所	6	6	6				
	カラスの駆除相談に伴う出動件数				件	313	295	283				

施策成果分析指標	指標名	算式または指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標	平成20年度実績	目標値	目標年度
	クリーン大作戦の参加人数	延べ人数	人	11,480	10,450	11,000	8,841	9,500	21
	カラスの巢の撤去・落下ヒナの捕獲件数		件	227	187	200	205	200	21
	ポイ捨てされた吸殻数	中杉通りと高南通りの調査1回平均	本	265	316	220	200	190	21

施策事業の構成の状況	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	安全美化条例に基づく生活環境の改善
		大きな成果を上げている事務事業	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談
		費用対効果の高い事務事業	
		見直すべき事務事業	安全美化条例に基づく生活環境の改善
新規事業			

施策の総合評価	指標の変化	過去3か年の指標値の増減はあるものの吸い殻のポイ捨て数は条例施行前に比べると各路上禁煙地区で7～9割減少しています。またクリーン大作戦の参加者については年々減少傾向にあります。参加者からは、軍手等支給品の充実を図る積極的な意見がある一方、参加手続きの簡素化や独自で活動を望む意見も寄せられています。
	20年度の取組状況	路上禁煙地区でのパトロールについては、強化月間を設けて区職員によるパトロールを実施するとともに、区内全駅において歩行喫煙防止のキャンペーンなどを実施しました。吸い殻のポイ捨て数については、安全美化条例施行以前と比較し激減していますが、違反行為の根絶までには至っていないのが現状です。また、区民との協働による環境美化活動として行われたクリーン大作戦では、参加者は157団体、延べ人数で8,800余名を数え、回収されたごみ量は前年を上回り、地域に根ざした運動となってきました。
	政策への貢献度	クリーン大作戦を地域の美化活動として根付かせると共に、安全美化条例施行後、ポイ捨てによる吸い殻が激減するなど効果が出ているものの、路上喫煙に関する苦情要望が絶えることはないため、さらなる啓発活動の充実と本年10月から過料徴収を開始することで、環境先進都市にふさわしい美しく安全で健康なまちづくりの実現に貢献します。

今後の施策の方向	○ 拡充 ● サービス増 ○ 現状維持 ○ 効率化 ○ 縮小 ○ 統廃合
----------	---

施策のあり方	クリーン大作戦をはじめ地域の美化活動については、定着度を考慮し、徐々に区民の自発的な活動に委ねていきます。路上喫煙指導については、環境清掃部だけでなく、全庁をあげて啓発活動を行っていくとともに、啓発ポスターの掲示等、たばこを売る側(特にコンビニエンスストア)の協力をさらに得てまいります。
--------	--

二次評価(評価と課題・方向性)	歩きタバコについては、平成21年10月から違反者に対して過料徴収を実施することにより地域社会における紀律を一層徹底し、まちの美化と区民の安全確保に努めます。 また、クリーン大作戦に対する多くの区民の参加とともに、駅前や公園清掃などを目的としたボランティア活動の活発化など、安全美化条例の制定後、環境に対する区民の意識や活動は着実に高まっています。こうした状況を踏まえ、区では今後とも区民の主体的な活動を支援し、快適な生活環境の確保に努めます。
-----------------	--

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 15】 【施策名: 生活環境の整備】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22年度 の方向性	相対性				
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤							重 点	成 果	効 果	見 直	
1	438 安全美化条例に基づく生活環境の改善			43,111	0	34,425	3.38	0.50	31,989	75,100	0	現状維持	現状維持	増減なし				
2	440 カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談			2,082	0	1,140	1.80	1.50	20,490	22,572	0	現状維持	現状維持	増減なし				
3									0	0								
4									0	0								
5									0	0								
6									0	0								
7									0	0								
8									0	0								
9									0	0								
10									0	0								
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				45,193	0	35,564	5.18	2.00	52,479	97,672	0							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	16	施策名	環境施策の枠組みづくり				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために							
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課									
施策の概要	施策の対象	区民、区内事業者、区内公共公益事業体、行政機関	目標	区民・事業者・行政が協働で環境施策を計画的に実行することで、環境先進都市杉並を築いていきます。											
	成果目標	環境基本計画の改定に際しては、環境清掃審議会の意見を十分に尊重するとともに、目標数値を明確にすることで、区民が見てわかり易い計画とします。													
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	国の省エネ法や都環境確保条例の施行による環境に関する新たな仕組みや制度が構築されました。また、太陽光発電やエコカーなど環境技術も近年大きく発展しています。一方、国においては、温暖化ガス排出量削減の中期目標についての発表もあり、これら施策を取り巻く状況を踏まえ、今後は区民・事業者とともに環境問題にどのように取り組んでいくかが課題です。														
施策分析 ・ 施策コスト (単位千円)		平成18年度 実績		平成19年度 計画		平成19年度 実績		平成20年度 計画		平成20年度 実績		平成21年度 計画		特記事項	
	事業費	16,463		8,651		5,539		17,971		13,631		10,564			
	(内) 投資的経費等	0		0		0		0		0		0			
	(内) 委託費	1,018		147		147		9,479		8,829		1,240			
	職員数(人) (常勤 非常勤)	5.90	0.28	4.00	0.00	4.06	0.00	3.00	1.00	3.09	1.00	3.00	1.00		
	人件費	54,246		36,560		37,108		29,950		30,765		29,950			
	総事業費 (+)	70,709		45,211		42,647		47,921		44,396		40,514			
	(財源) 国・都からの補助金等	0		0		0		0		0		0			
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)	/		/		▲ 39.7		6.0		4.1		▲ 15.5			当該年度 総事業費
	人件費比率	76.7		80.9		87.0		62.5		69.3		73.9			前年度 総事業費 %
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度						
	環境清掃審議会の開催回数					回	8	9	13						
	環境白書の発行部数					部	500	1,000	450						

施策分析	指標名	算式または指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標	平成20年度実績	目標値	目標年度
	環境清掃審議会委員出席率		%	83	80	100	78	-	-
	環境白書配布部数		部	450	900	450	450	-	-

施策を構成の状況	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	環境保全の普及啓発
		大きな成果を上げている事務事業	環境清掃審議会の運営 環境清掃部一般管理
		費用対効果の高い事務事業	
		見直すべき事務事業	
新規事業			

施策の総合評価	指標の変化	成果指標の数値は、前年までと比較し、特に大きな差異はありません。この施策の成果にふさわしい指標を模索して、今年度より「環境清掃審議会での審議・報告件数」「環境博覧会参加・協力団体数」から変更を行いました。さらに施策の成果を測る指標について、今後検討を行っていきます。
	20年度の取組状況	環境清掃審議会は、13回開催(6回の部会を含む)し、各委員の意見や要望等を、環境行政に広く反映してきました。 特に、区の環境施策の根幹である環境基本計画の改定に関する審議においては、委員相互の活発な議論を経て、答申として報告書がまとめられました。今後、答申の趣旨を踏まえ、計画改定を行っていきます。
	政策への貢献度	環境先進都市の実現には、行政と区民・事業者とともに取り組むことが必要です。環境清掃審議会などを通して、区民の意見を施策に反映することや、環境白書の発行や環境パネル展、打ち水などの事業を実施し、環境問題に対する意識をより一層高めます。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
----------	---

施策のあり方	区民との協働により「環境先進都市 杉並」を実現していきます。
--------	--------------------------------

二次評価(評価と課題・方向性)	<p>学識経験者や区民、環境団体等の代表者で構成する環境清掃審議会は、環境政策の計画・執行にあたり、重要な役割を果たしており、今後も社会環境の変化や審議会における議論を踏まえ、質の高い環境政策の計画と実践に努めます。</p> <p>また、区民一人ひとりが身近な問題として関心を持てるよう、環境問題に関するきめ細かい情報提供や啓発活動を推進していきます。</p>
-----------------	--

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 16】 【施策名: 環境施策の枠組みづくり】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22 年度 方向 性	相対性			
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤	重 点							成 果	効 果	見 直	
1	432 環境清掃部一般管理			2,428	0	146	1.59	0.50	15,790	18,218	0	現状維持	現状維持	増減なし				
2	433 環境清掃審議会の運営			2,968	0	808	0.50	0.50	5,925	8,893	0	増	現状維持	現状維持	増減なし			
3	437 環境保全の普及啓発			8,234	0	7,875	1.00	0.00	9,050	17,284	0	現状維持	現状維持	減				
4									0	0								
5									0	0								
6									0	0								
7									0	0								
8									0	0								
9									0	0								
10									0	0								
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				13,631	0	8,829	3.09	1.00	30,765	44,396	0							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	17	施策名	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために			
施策担当課	環境清掃部清掃管理課					関係課	杉並清掃事務所			
施策の概要	対象	区民・事業者・産業団体	目標	区民生活や事業活動を環境負荷の少ないものに変え、ごみの発生抑制、資源の再使用・リサイクル・適正処理などについて、一般廃棄物処理基本計画に基づき、区民・事業者・行政が連携して実施していきます。また、環境施策の象徴の一つであるレジ袋削減目標・マイバッグ持参率60%を達成します。						
	成果目標	平成20年度は、廃プラスチックのサーマルリサイクルの実施、プラスチック製容器包装集積所回収とペットボトル集積所回収の区内全域での実施を行い、ごみの減量を図るとともに、ペットボトルとプラスチック製容器包装の回収量を大幅に増やすとともに、リサイクル率の向上を図ります。								
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分場の延命(中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場の利用期限が50年程度と見込まれている) ・循環型社会実現の社会的要請と関連法案の整備の進展 ・分別・リサイクル率の向上と不燃ごみの減量の必要性の具体化計画であるごみ半減プランの実践 ・廃プラスチックサーマルリサイクルの区内全域実施(20年4月) ・ごみを限りなくゼロを目指す杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定(20年3月) ・平成21年3月をもって、杉並中継所を廃止。 ・レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例制定(20年4月) 									
施策分析 ・施策コスト (単位千円)	区分	平成18年度実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		特記事項	
	事業費	1,234,949	1,372,170	1,288,248	2,367,928	2,250,287	2,423,320			
	(内)投資的経費等	0	0	0	0	0	0			
	(内)委託費	1,016,961	1,125,543	1,053,728	2,180,990	2,088,638	2,284,032			
	職員数(人) (常勤 非常勤)	20.19 4.00	26.40 0.00	29.77 0.00	32.40 0.50	35.64 0.50	33.88 3.00			
	人件費	194,240	241,296	272,097	294,620	323,943	315,015			
	総事業費(+)	1,429,189	1,613,466	1,560,345	2,662,548	2,574,230	2,738,335			
	(財源)国・都からの補助金等	59,638	0	25,595	0	23,738	10,635			
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)			9.2	65.0	65.0	2.8	当該年度総事業費 / 前年度総事業費 %		
	人件費比率	13.6	15.0	17.4	11.1	12.6	11.5	人件費 / 総事業費 (単位%)		
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
	資源回収量	区回収 + 集団回収			t	32,818	33,850	38,851		
	ペットボトル回収量				t	784	783	1,823		
	プラスチック製容器包装収集量				t	1,245	1,409	4,820		

施策成果分析指標	指標名	算式または指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標	平成20年度実績	目標値	目標年度
	一人一日あたりの排出ごみ(家庭系)		g	649	618	540	565	430	22
	リサイクル率	資源回収量 / 区関与排出物量	%	21	22	25	26	45	22

施策事業を構成の状況	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	レジ袋有料化推進						
		大きな成果を上げている事務事業	ごみ減量運動 レジ袋有料化推進	資源の回収	リサイクル活動の支援				
		費用対効果の高い事務事業							
		見直すべき事務事業							
新規事業									

施策の総合評価	指標の変化	平成20年度からのペットボトルとプラスチック製容器包装の区内全域での収集に伴い、資源回収量及びリサイクル率とも大幅に上昇している。資源回収量の大幅増により、一日一人あたりの排出ごみ(家庭系)については、前年度の減少率を上回り、確実にごみの減量が進んでいる。
	20年度の取組状況	平成20年度は、廃プラスチックのサーマルリサイクルを実施するとともに、プラスチック製容器包装及びペットボトルの区内全域での集積所回収を開始するなど、ごみの減量とリサイクルを推進するための基盤整備を行いました。 また、レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例の施行に伴い、対象店舗ではレジ袋削減計画に基づき、取組が本格化しましたが、業態によっては、取組内容や進捗状況に差が見られるのが現状です。
	政策への貢献度	不燃ごみの大半を占めるプラスチックごみを、資源物として集積所での回収を行うことは、ごみの減量化に大きく寄与します。さらに、プラスチックの資源化の推進に伴い、資源循環型社会の象徴であるリサイクルの推進に果たす役割が大きいものといえます。 また、マイバックキャンペーンやコンビニエンスストアにレジ袋不要カードを置く取り組みは、レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例の目標であるマイバック持参率60%達成に貢献しています。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
施策のあり方	<p>ごみを限りなくゼロにする社会の構築には、リサイクル率の向上が不可欠です。そのために、ごみ、資源の分別の徹底を図るとともに、資源品目を増やし、さらなるリサイクル率の向上を図ります。同時に過剰包装の抑制を主なテーマとするすぎなみ環境賞の実施や、清掃情報誌の活用などを通じ、普及啓発に努めるとともに、ごみの発生自体を抑えていくように区民・事業者と協働しながら、取り組んでまいります。</p> <p>また、環境施策の一つの象徴としてのレジ袋削減目標の達成を目指します。</p>

二次評価(評価と課題・方向性)	<p>家庭ごみについては、減量の数値目標に向けて概ね順調に推移していますが、一層の減量を推進していくためには、ごみの発生抑制と分別の徹底、リサイクルの推進を一体的に実施していくことが重要です。とりわけ、環境に対する区民の意識や関心を高め、ごみの発生段階から減量を図ることが何より重要です。</p> <p>そのためにも、マイバック持参や省エネ、省資源など、区民一人ひとりの身近な取組を奨励・支援していくとともに、国に対して事業者の拡大生産者責任を求めていきます。</p>
-----------------	--

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 17】 【施策名: ごみの発生抑制及びリサイクルの推進】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22年度 の方向性	相対性				
		実計	行革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常勤							重点	成果	効果	見直	
1	445 ごみ減量運動			34,588	0	10,102	2.64	0.00	23,892	58,480	0	増	増	増				
2	448 資源の回収			2,113,447	0	2,061,755	30.43	0.00	275,392	2,388,839	23,738	現状維持	現状維持	増				
3	450 リサイクル活動の支援			99,780	0	16,709	0.50	0.50	5,925	105,705	0	現状維持	増	増				
4	452 レジ袋有料化推進			2,472	0	73	2.07	0.00	18,734	21,206	0	増	現状維持	増				
5									0	0								
6									0	0								
7									0	0								
8									0	0								
9									0	0								
10									0	0								
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				2,250,287	0	2,088,638	35.64	0.50	323,943	2,574,230	23,738							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	18	施策名	環境配慮行動の推進		上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために				
施策担当課	環境清掃部環境課(環境都市推進課)				関係課					
施策の概要	対象	区民、区内事業者・団体、区・区職員等	目標	環境先進都市を目指し、区民、事業者、行政が協働して、一人ひとりの環境意識を高め、再生可能エネルギーの利用や省エネ機器等の導入を図り、省エネや省資源、まちの緑化を推進し、エネルギー効率の良い地域社会づくりを行います。						
	成果目標	区の二酸化炭素排出量を、平成22年度までに平成2年度比で2%削減します。 また、区役所の温室効果ガス排出量を、平成22年度に平成11年度比で10%削減します。								
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<p>ポスト京都議定書を決めるCOP15に向けて、二酸化炭素排出量に関する中期目標が国際的な議論を呼んでいます。国は平成32年(2020年)までに平成17年(2005年)を基準年として15%削減を中期目標とし、平成21年度一般会計補正予算(第1号)で「低炭素革命」を掲げ、太陽光発電や環境対応車、省エネルギー家電、高効率給湯器等の導入助成による普及を図っています。また、改正省エネルギー法で事業者単位のエネルギー管理を義務付け、努力目標として事業者のエネルギー削減率を設定しました。都においては、平成32年(2020年)までに平成12年(2000年)比で温室効果ガスを25%削減することを目標として環境確保条例を改正し、平成22年度からの事業者単位の温室効果ガス排出総量の削減義務と排出量取引制度の導入や、家庭や事業所への省エネ家電の普及のため、省エネラベリング制度を創設しました。</p> <p>また、平成21年度から太陽エネルギー利用機器設置導入助成を行い、太陽光発電やソーラーシステム、太陽熱温水器の普及による再生可能エネルギーの増加や省エネを図っています。区では、平成20年度の環境博覧会すぎなみへの参加者が過去最高となる他、登録環境団体が37団体に増加し、区民の環境意識の高まりが見られます。</p>									
施策分析・施策コスト(単位千円)	区分	平成18年度実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		特記事項	
			計画	実績	計画	実績	計画			
	事業費	85,722	81,573	72,854	81,014	65,057	84,094			
	(内)投資的経費等	0	0	0	0	0				
	(内)委託費	44,455	40,901	40,078	31,296	29,563	33,530			
	職員数(人) (常勤 非常勤)	9.60 1.30	8.00 2.00	8.82 2.00	7.00 1.59	7.68 2.36	5.70 2.70			
	人件費	90,655	78,660	86,155	67,802	76,112	59,145			
	総事業費(+)	176,377	160,233	159,009	148,816	141,169	143,239			
	(財源)国・都からの補助金等	0	0	0	1,000	1,000	5,250			
総事業費伸び率 (計画比・実績比)	▲ 9.8	▲ 7.1	▲ 11.2	▲ 3.7			当該年度 総事業費	前年度 総事業費	%	
人件費比率	51.4	49.1	54.2	45.6	53.9	41.3		人件費 / 総事業費 (単位%)		
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
	太陽光発電システム機器設置補助件数				件	67	74	72		
	環境学習講座数				回	23	21	16		
	区長部局のISO14001での環境目的・環境目標の項目数				項目	51	51	60		

	指標名	算式または指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標	平成20年度実績	目標値	目標年度
施策成果分析指標	あんさんぶる荻窪環境学習室の年間利用率		%	85	84	93	86	95	22
	区長部局のISO14001での主な省エネルギー・省資源の実績による二酸化炭素(CO2)削減率(H11年度比)		%	16	13	16	15.8	17	22

施策事業の状況を構成する	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	省エネ行動の推進						
		大きな成果を上げている事務事業	省エネ行動の推進	あんさんぶる荻窪の維持運営経費					
		費用対効果の高い事務事業	省エネ行動の推進						
		見直すべき事務事業	環境博覧会の開催 環境配慮行動の推進						
新規事業									

施策の総合評価	指標の変化	活動指標は環境活動講座数を除き、上昇傾向にあります。環境活動講座の減少は、登録環境団体等の類似の講座が増えたため、区で行う回数を見直した結果です。 成果指標のうち、あんさんぶる荻窪の環境学習室の年間利用率は高止まりで推移しています。区長部局のISO14001による二酸化炭素削減率は微減傾向にあり、一層の省エネルギー・省資源を行います。
	20年度の取組状況	杉並区では家庭からの二酸化炭素排出量が全体の4割以上を占めることから、家庭における排出削減を促進するため、太陽光発電機器の設置助成をはじめ、家庭で簡単にできる省エネ行動に関するリーフレットの配布や省エネ相談窓口の設置、環境情報館における講座の開催など、きめ細かな情報提供や啓発活動を行ってきました。 また、二酸化炭素排出量の約3割を占める運輸・自動車からの排出削減策としては、エコドライブ支援機器設置助成制度を開始しました。
	政策への貢献度	家庭でできる省エネについて節約金額も記載したリーフレットは、省エネを見える形で表現していると好評を得、活用されています。また、省エネ相談窓口は23回の開催で235件の相談を受け、出前講座は町会等からの依頼により5か月間に23回開催するなど、区民の省エネ・省資源に対する意識を高め、エネルギー効率の良い地域社会づくりに貢献しています。

今後の施策の方向	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合
施策のあり方	環境先進都市を目指して以下の取り組みを行います。太陽光発電等の太陽エネルギー機器や高効率給湯器、エコドライブ支援機器などの省エネ機器の導入助成を拡充し、省エネ、省資源を行い、地域のエネルギー効率を良くして行きます。環境博覧会や省エネ相談、出前講座でより一層、区民の環境意識を高め、具体的な省エネ行動に結びつくようにします。行政の省エネ対策としてISO14001環境マネジメントシステムを一層活用し、改正省エネ法、改正環境確保条例に対応して行きます。

（評価と課題） 方向性 二次評価	住宅都市である杉並区が、環境先進都市をめざしていくためには、行政施策とともに家庭における取組が重要です。こうした観点から区では、家庭での身近な取組を支援する、さまざまな助成事業や啓発活動を進めています。 引き続き、国内外の動向を踏まえ、省エネ、省資源、緑化対策に重点的に取組、エネルギー効率が良く、質の高い区民生活を実現するための環境政策を推進していきます。
------------------------	--

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 18】 【施策名: 環境配慮行動の推進】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22 年度 方向 性	相対性			
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤	重 点							成 果	効 果	見 直	
1	434 環境博覧会の開催			9,991	0	99	2.10	0.00	19,005	28,996	1,000	増	現状維持	増減なし				
2	435 省エネ行動の推進			19,329	0	2,325	1.50	0.60	15,255	34,584	0	増	増	大幅増				
3	436 環境配慮行動の推進			4,528	0	2,654	0.20	0.00	1,810	6,338	0	増	現状維持	増減なし				
4	439 ISO14001等の推進			2,399	0	1,363	2.18	0.61	21,437	23,836	0	増	増	増				
5	443 自然環境の保全			869	0	548	0.50	0.45	5,785	6,654	0	現状維持	現状維持	増				
6	458 あんさんぷる狹窪の維持運営経費			27,941	0	22,574	1.20	0.70	12,820	40,761	0	増	現状維持	増減なし				
7									0	0								
8									0	0								
9									0	0								
10									0	0								
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				65,057	0	29,563	7.68	2.36	76,112	141,169	1,000							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	19	施策名	公害の防止				上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために						
施策担当課	環境清掃部環境課					関係課								
施策の概要	施策の対象	区民、工場等の事業者、大気汚染状況、道路交通騒音・振動の状況など	目標	大気汚染や自動車交通騒音、工場などの事業場から発生する騒音・悪臭などの公害の防止を図ることにより、区民の生命、健康、財産等を守る。										
	成果目標	受け付けた公害の苦情・相談については、速やかに対応し、苦情・相談完結率を90%以上とします。												
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<p>大規模工場の閉鎖や郊外への移転に加え、中小の工場も廃業が進んでおり、事業系の公害は減少しています。一方、マンション開発等、ビル建替えに伴う騒音、振動などの公害が増加しています。さらに、近隣騒音等、生活公害への対応を行政に求める相談も多くなっています。</p> <p>大気汚染については、法律によりディーゼルの排気ガス規制が強化されるとともに、首都圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)では、ディーゼルの走行規制が行われています。この結果、区内3地点における浮遊粒子状物質の濃度はわずかずつですが減少傾向が見られます。</p> <p>そのほか、近隣騒音等に苦しむ区民や道路近くに居住する区民から、騒音や大気汚染の測定を求める声が多くなっています。</p>													
施策分析 ・ 施策コスト (単位千円)	区分	平成18年度実績		平成19年度計画		平成19年度実績		平成20年度計画		平成20年度実績		平成21年度計画		特記事項
	事業費	50,195		59,338		45,582		52,173		40,539		37,445		
	(内)投資的経費等	4,878		1,118		967		547		479		4,958		
	(内)委託費	42,052		48,212		41,221		45,950		37,718		28,012		
	職員数(人) (常勤 非常勤)	10.00	0.00	9.00	1.00	9.00	1.00	8.00	1.00	8.10	1.00	8.00	1.00	
	人件費	90,600		85,030		85,030		75,200		76,106		75,200		
	総事業費 (+)	140,795		144,368		130,612		127,373		116,645		112,645		
	(財源)国・都からの補助金等	0		0		0		0		0		0		
	総事業費伸び率 (計画比・実績比)	/		/		▲ 7.2		▲ 11.8		▲ 10.7		▲ 11.6		
人件費比率	64.3		58.9		65.1		59.0		65.2		66.8		前年度 総事業費 %	
施策活動指標	指標名	算式または指標の説明				単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度					
	環境実態調査の分野数					分野	4	4	4					
	延べ調査地点数					地点	194	200	183					
	立入調査、指導、届出受理件数					件	2,560	2,270	1,554					
	公害苦情相談受付件数					件	276	274	248					

施策分析指標	指標名	算式または指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度目標	平成20年度実績	目標値	目標年度
	区内環境への適正管理化学物質排出量		kg	11,350	11,111	11,000	-	-	-
	苦情・相談完結率(%)	$(\text{苦情・相談完結件数}) \div (\text{苦情・相談件数}) \times 100$	%	65	63	54	75	-	-
	区民への情報提供(広報報告書)及び環境マップデータ等の更新の回数		回	10	15	15	15	-	-

施策分析指標	相対性	重点事業に位置付けられる事務事業	公害等防止、大気や河川水質などの環境実態調査
		大きな成果を上げている事務事業	
		費用対効果の高い事務事業	
		見直すべき事務事業	
新規事業			

施策の総合評価	指標の変化	適正管理化学物質の区内環境への排出がしだいに減少しています。事業所による代替物質への転換や排出防止措置や適正管理等の成果と考えられます。また、苦情・相談完結率は過去の苦情の解決が進み、20年度の受付件数を上回ったため大きな上昇となりました。環境測定調査結果の区民等への情報提供については予定どおり速やかに行うことが出来ました。
	20年度の取組状況	杉並中継所の環境モニタリング調査については、中継所の安全操業を確認するために実施してきましたが、杉並中継所の廃止に伴い、調査についても終了することとしています。また、区内の大気汚染や交通騒音、河川水質などの環境測定結果については、区民への情報提供とともに、調査結果を踏まえ必要な対策を講じてきました。加えて、近隣騒音等に関する対策についても当事者間での紛争解決に向けて積極的に調整を行い、多くの事例において解決に導きました。
	政策への貢献度	大気汚染や自動車交通騒音は、依然、深刻な状況であり、これらの公害を改善していくための基礎的資料を得るための測定調査を実施し、その結果を区民ならびに道路管理者など実際の公害対策所管部署へ情報提供しています。また、区には、騒音や振動、悪臭等の苦情・相談が寄せられていますが、これらの問題についても行政が加害者と被害者の間に入って協議や調整を行っています。これらを通じ、区民の健康や生活環境を守っていくことによって、環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちの実現に直接的・間接的に貢献しています。

今後の施策の方向	○ 拡充	○ サービス増	● 現状維持	○ 効率化	○ 縮小	○ 統廃合
----------	------	---------	--------	-------	------	-------

施策のあり方	公害については、これからも行政が加害者と被害者の間に入る機会が多くなると考えられます。粘り強い協議や調整によって解決に至った事例も多くあり、これらについては、事後のフォローアップを徹底してまいります。事業活動に伴う化学物質などの排出については、規制や監視の手法に加え、使用量の報告を求めることなどによって抑制していきます。大気汚染や自動車交通騒音等の基礎的資料の収集及び区民等への情報提供を行うとともに、調査結果を対策に結びつける努力を行ってまいります。
--------	---

二次評価 (評価と課題・方向性)	大気汚染、騒音、臭気などの公害問題は、一般的に区民だけでは解決が難しく、行政が関与することにより、区民の生活環境を守っていくべき課題です。こうした中で、区へ寄せられる苦情件数は、減少傾向にあります。今後とも事案に応じて可能な限り迅速な対応に努めます。併せて、区だけでは解決が困難な問題については、必要な環境調査などを踏まえ、国や東京都とも協力・連携し、区民の快適な生活空間の確保に努めていきます。
---------------------	--

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 19 】 【施策名: 公害の防止 】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費			職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	22 年度 方向 性	相対性			
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤	重 点							成 果	効 果	見 直	
1	441 公害等防止			4,744	0	3,518	4.67	1.00	45,064	49,808	0	現状維持	現状維持	増減なし				
2	442 天気や河川水質などの環境実態調査			35,795	479	34,200	3.43	0.00	31,042	66,837	0	現状維持	現状維持	増減なし				
3									0	0								
4									0	0								
5									0	0								
6									0	0								
7									0	0								
8									0	0								
9									0	0								
10									0	0								
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				40,539	479	37,718	8.10	1.00	76,106	116,645	0							

平成21年度 杉並区施策評価表

施策番号	20	施策名	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		上位政策名	環境に負荷を与えない持続的な成長が可能なまちをつくるために				
施策担当課	環境清掃部清掃管理課				関係課	杉並清掃事務所				
施策の概要	施策の対象	個人・世帯・事業者	目標	廃棄物の排出を抑制し、廃棄物の適正な分別、収集、運搬、保管、再生、処分等の処理をするとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。						
	成果目標	20年度から廃プラスチックサーマルリサイクルを開始し、区内一部地域でのみ資源として集積所回収を行ってきたプラスチック製容器包装、ペットボトルについても区内全域で実施した。その結果、区民1人あたりのごみ量は大幅に減量し、リサイクル率は4ポイント上昇した。さらなる収集サービスの向上を図るため、平成22年10月を目途に一部地域での戸別収集のモデル実施を検討する。								
施策を取り巻く環境 (動き、区民意見等) (社会情勢、国・都の)	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分場の延命(中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場の利用期限が50年程度と見込まれている) ・循環型社会実現の社会的要請と関連法案の整備の進展 ・杉並中継所を不要とするための、分別・リサイクル率の向上と不燃ごみの減量の必要性の具体化計画であるごみ半減プランの策定 ・東・西清掃事務所の組織の統合化(平成16年4月組織改正) ・車庫係(高円寺・高井戸)の完全統合(平成17年4月) ・廃プラスチックサーマルリサイクルの区内全域実施 ・ごみを限りなくゼロを目指す杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定(20年3月) ・杉並中継所の20年度末に廃止 									
施策分析 ・施策コスト (単位千円)	区分	平成18年度実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		特記事項	
			計画	実績	計画	実績	計画			
	事業費	4,219,619	4,654,530	4,496,068	4,575,049	4,325,225	4,237,684			
	(内)投資的経費等	36,750	0	0	0	0	0			
	(内)委託費	223,097	270,573	274,313	1,651,496	1,537,040	1,322,363			
	職員数(人) (常勤 非常勤)	257.34 29.00	274.32 26.00	277.50 26.00	258.82 22.00	271.09 21.70	243.87	23.90		
	人件費	2,413,570	2,579,304	2,608,370	2,403,922	2,514,126	2,273,946			
	総事業費(+)	6,633,189	7,233,834	7,104,438	6,978,971	6,839,351	6,511,630			
	(財源)国・都からの補助金等	0	0	0	4,019	2,089	4,525			
総事業費伸び率 (計画比・実績比)			7.1	▲ 3.5	▲ 3.7	▲ 6.7		当該年度 / 前年度 総事業費 / 総事業費 %		
人件費比率	36.4	35.7	36.7	34.4	36.8	34.9		人件費 / 総事業費(単位%)		
施策活動分析指標	指標名	算式または指標の説明			単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
	可燃・不燃・粗大ごみ量	東京23区清掃一部事務組合による(平成16年度までは清掃協議会)			t	125,419	120,598	110,926		
	ごみ量減量率				%	2	4	8		
	資源化率(ごみ量の中の資源の率)				%	21	22	26		

施策 成果 分析 指標	指標名	算式または 指標の説明	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度 目標	平成20年度 実績	目標値	目標 年度
	区民1人あたりのごみ処理年間費用		円	15,364	15,691	17,276	16,811	-	-
	ふれあい収集対象 件数		件	935	740	800	887	-	-

施策 を 構 成 す る 状 況	相 対 性	重点事業に 位置付けられ る事務事業	一般廃棄物処理管理事務		
		大きな成果を 上げている事 務事業	ごみ・し尿の収集・運搬 清掃一部事務組合分担金等 所方南支所の安全管理	ごみ・し尿の中継業務 杉並清掃事務所の安全管理	ごみ・資源の排出の適正管理 杉並清掃事務
		費用対効果の 高い事務事業			
		見直すべき 事務事業	杉並清掃事務所の維持管理	杉並清掃事務所方南支所の維持管理	
	新規事業				

施 策 の 総 合 評 価	指標の 変化	区民1人あたりのごみ処理年間費用については、サーマルリサイクルの実施と、プラスチック製容器包装収集やペットボトルの区内全域での集積所回収による事業の拡大により資源物の処理費用を含めたコストは増加している。
	20 年 度 の 取 組 状 況	ごみ量は、ごみの分別の徹底や資源化の推進により、着実に減少してきています。20年度は、サーマルリサイクルの実施に合わせ、プラスチック製容器包装やペットボトルを「資源」として収集したことが、不燃ごみを中心とした家庭ごみの減量に大きく寄与しています。
	政 策 へ の 貢 献 度	ごみの減量とリサイクルの向上は、循環型社会作りの第一歩であり、20年度は、前年度に比べ、大きな実績を残すことになりました。

今後の施策の方向	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> サービス増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 効率化	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統廃合
施策の あり 方	区は、ごみ・資源の分別の徹底を図るとともに、資源物回収品目の拡大を図りながら、ごみの減量・適正処理を進めていく必要があります。今後、きめ細かな収集サービスの向上を図る一環として、戸別収集の導入に向けた検討を進めるとともに、ごみ減量・資源化の推進に向けた家庭ごみの有料化もあわせて検討を進めます。					

（評価と課題） 方向性） 一次評価	区では、ごみの減量化を推進するため、サーマルリサイクルの実施や分別方法の変更とともに、業務の委託化を進めるなど、収集方法の見直しとコスト負担の適正化に努めています。本年度は、清掃事業移管から10年を迎えますが、事業移管の意義や目的を踏まえ、一層の区民サービスの向上をめざしていく必要があります。そのため今後、ごみの分別の徹底や資源化など、区民のごみの自己管理とごみの減量化を進めると共に、事業の効率化に努め、収集方法の見直しや家庭ごみの有料化など、杉並区らしいごみ処理政策を検討していきます。
-------------------------	--

平成21年度 杉並区施策評価表 (施策を構成する事務事業)

【施策番号: 20】 【施策名: ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上】

金額の単位は千円

整理番号	評価対象事務事業名	位置付		20年度事業費		職員数		人件費 (非常勤 含)	総事業費	(財源) 国・都から の補助金 等	成果	コスト	2 2 の 方 向 性 予 算	相対性				
		実 計	行 革	(内)投資 的経費等	(内)委託費	常勤	非常 勤							重 点	成 果	効 果	見 直	
1	444 一般廃棄物処理管理事務			8,182	0	3,577	5.08	1.70	50,734	58,916	0	増	現状維持	増減なし				
2	446 ごみ・し尿の収集・運搬			1,021,460	0	1,004,333	174.42	18.00	1,628,901	2,650,361	0	増	増	大幅増				
3	447 ごみ・し尿運搬の中継業務			515,327	0	442,001	13.32	1.00	123,346	638,673	0	増	減	増減なし				
4	449 ごみ・資源の排出の適正管理			71,478	0	22,250	32.98	0.00	298,469	369,947	0	増	減	増減なし				
5	451 清掃一部事務組合分担金等			2,526,093	0	0	0.41	0.00	3,711	2,529,804	0	増	減	増				
6	453 杉並清掃事務所の維持管理			53,947	0	18,215	3.04	1.00	30,312	84,259	0	増	増	増減なし				
7	454 杉並清掃事務所の安全管理			5,373	0	1,551	1.41	0.00	12,761	18,134	0	現状維持	現状維持	増減なし				
8	455 杉並清掃事務所方南支所の維持管理			88,452	0	43,968	3.60	0.00	32,580	121,032	0	増	増	増減なし				
9	456 杉並清掃事務所方南支所の安全管理			4,863	0	1,018	0.83	0.00	7,512	12,375	0	現状維持	現状維持	増減なし				
10	457 清掃車の運行及び維持管理			30,051	0	127	36.00	0.00	325,800	355,851	2,089	現状維持	減	増減なし				
11									0	0								
12									0	0								
13									0	0								
14									0	0								
15									0	0								
16									0	0								
17									0	0								
18									0	0								
19									0	0								
20									0	0								
21									0	0								
22									0	0								
23									0	0								
24									0	0								
25									0	0								
26									0	0								
27									0	0								
28									0	0								
29									0	0								
30									0	0								
31									0	0								
32									0	0								
33									0	0								
34									0	0								
35									0	0								
36									0	0								
37									0	0								
38									0	0								
39									0	0								
合計				4,325,225	0	1,537,040	271.09	21.70	2,514,126	6,839,351	2,089							